



SAH
Student Agency High School

前南進路だより

R7・第28号 3月13日発行

1、3年生による合格体験を聴く会



12日(木)の5限(1年)・6限(2年)において、卒業した3年生による、「合格体験を聴く会」が開催されました。文系・理系それぞれ5名の卒業生が、志望校をいつ頃どのように決定したのか、効果的な学習方法等について、後輩たちに分かりやすく説明をしてくださいました。印象的だったのは、受験勉強を計画的に進めていた点です。特に国公立大の入試では、受験科目や学習内容が多くなるため、日々の学習はも

ちろんのこと、長期的な視点で継続的に学習を進めていく必要があります。そして、授業を集中して受けることや、模試の振り返りの重要性も訴えていました。1・2年生の皆さんも、先輩方のアドバイスを参考にして、進路実現に向けて頑張ってください。2026年度入試も終盤を迎えている中で、「私大入試が難化した」という声が聞こえてきます。公表されている志願状況で、確認をしたいと思います。

(1) 私立大・学部系統別志願状況

※ K-net 参照

学部系統	一般方式		共通テスト利用方式		合計	
	26年度	26/25(%)	26年度	26/25(%)	26年度	26/25(%)
文・人文	297,043	110	147,729	108	444,772	109
社会・国際	170,056	115	93,418	106	263,474	112
法・政治	169,085	116	94,607	110	263,692	114
経済・経営・商	422,209	107	199,313	112	621,522	109
理	79,600	106	44,601	111	124,201	108
工	364,726	106	294,991	111	659,717	108
農	51,532	112	26,190	115	77,722	113
医	40,274	102	9,176	104	49,450	102
歯	1,428	114	429	115	1,857	114
薬	18,210	106	9,996	129	28,206	113
看護	12,710	108	6,348	108	19,058	108
医療技術・他	9,980	96	8,041	101	18,021	98
生活科学	19,332	117	10,798	117	30,130	117
芸術・スポーツ 科学	34,060	109	18,698	105	52,758	108
総合・環境・情報・ 人間	80,606	115	46,597	109	127,203	113
全体	1,770,851	109	1,010,932	110	2,781,783	110

上記の表は、私立大の103大学の学部系統別志願状況(3月6日現在)をまとめたものです。「医療技術・他」の学部系統を除いて、全学部系統で昨年度よりも志願者数が増加しています。多くの受験生が多くの大学に、一般方式・共通テスト利用方式で出願したことが確認できます。

(2) 私立大・主要大学グループ別志願状況 ※ K-net 参照

主要大学グループ別 志願状況	一般方式		共通テスト利用方式		合計	
	26年度	26/25(%)	26年度	26/25(%)	26年度	26/25(%)
早慶上理	149,131	104	81,265	114	230,396	108
早稲田	64,722	102	29,716	91	94,438	98
慶應義塾	42,033	105	—	—	42,033	105
上智	5,789	110	26,157	110	31,946	110
東京理科	36,587	107	25,392	172	61,979	126
MARCH	278,131	103	144,399	106	422,530	104
明治	79,026	95	35,650	113	114,676	100
青山学院	30,640	109	23,804	105	54,444	107
立教	43,052	113	27,142	110	70,194	112
中央	48,642	100	23,334	99	71,976	100
法政	76,771	108	34,469	101	111,240	106
(学習院)	24,048	137	4,510	87	28,558	125
成成明國武	82,362	109	37,696	108	120,058	109
成蹊	19,830	143	10,858	129	30,688	138
成城	10,236	114	9,390	170	19,626	136
明治学院	21,697	111	7,840	79	29,537	100
國學院	18,123	98	6,023	96	24,146	97
武蔵	12,476	83	3,585	78	16,061	82
日東駒専	205,018	113	99,804	108	343,340	107
日本	85,907	126	24,820	108	110,727	121
東洋	64,479	101	44,250	107	108,729	104
駒澤	21,268	109	13,161	108	34,429	109
専修	33,364	113	17,573	111	50,937	112
大東亜帝国						
大東文化	8,165	108	13,340	93	21,505	98
東海	24,877	112	19,043	141	43,920	123
亜細亜	4,693	126	4,532	133	9,225	129
帝京						
国士舘	7,357	108	5,842	142	13,199	121
東芝電工(四工大)	78,612	111	57,980	130	136,592	118
芝浦工業	28,191	114	24,965	181	53,156	138
東京都市	15,316	109	11,806	105	27,122	107
東京電機	22,237	105	10,444	106	32,681	105
工学院	12,868	121	10,765	109	23,633	115

上記の表は、主要大学グループ別・大学別志願状況（3月6日現在）をまとめたものです。各グループ・各大学で、昨年度よりも志願者数が大幅に増加しています。新学習指導要領による共通テスト2年目をむかえた今年度は、当初から「昨年度より難化するだろう」と予想されていました。現に、6教科8科目（1000点満点）で文系・理系ともに平均点が昨年度よりも約30点低くなりました。その結果、国公立大は【強気の出願（第1志望）】をし、私立大は【手厚く・幅広く抑える（上位～下位）】といった上位層の動向が中下位層にも波及したことで、私大の難化と志願者の増加につながったと推測されます。当然、志願倍率が上がれば、合格最低点も高くなります。また、定員充足率による「合格者の絞り込み」が行われると、受験生にとってさらに厳しい状況が生まれます。

このような状況は、来年度以降も継続することが予測されます。私大の入試においては、主要3科目の学力が合否に大きく影響します。まずは、国語・数学・英語の3科目の学力定着を目指しつつ、理科・社会の学習も並行して進めていく必要があります。3科目の力が安定してくると、公立大（例えば、高崎経済大）への受験の選択肢も広がり、併願校の1つとなります。国公立大と私立大の区別を明確にせず、受験の視野を広げながら志望校の検討をすることが必要です。